

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 陶磁器産業振興人材交流事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 地場産業振興係 電話番号：058-272-1111(内3784)

E-mail：c11355@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,510 千円 (前年度予算額： 0 千円)

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,510	0	0	0	0	0	0	0	1,510
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

①ハンガリー・ヘレンド社との人材交流（受入）

・陶磁器産業は、日本人のライフスタイル・価値観の変化や安価な外国製品の流入など、市場環境は極めて難しい状況下にあり、陶磁器文化、産業振興に寄与する施策が必要とされている。

・そこで、令和3年9月に、ハンガリーのヘレンド社との友好協力に関する覚書を締結し、同年に開催された「国際陶磁器フェスティバル美濃'21」において、「セラミックバレエと世界の陶磁器展～美濃焼とハンガリーの名窯ヘレンド～」を開催した。

・その後、令和5年9月には、ハンガリーのヘレンド磁器博物館において「美濃焼展」を開催するとともに、美濃焼製造企業からヘレンド社への人材交流（研修派遣）を実施した。

・令和6年10月には、ヘレンド社から岐阜県への人材交流（研修受入）を実施するとともに、国際陶磁器フェスティバル美濃'24の副催事「美濃焼展（セラミックバレエ展）～ヘレンド社との交流～」において、令和5年9月にヘレンド磁器博物館で開催した美濃焼展の凱旋展示やヘレンド製品の展示を行い、ヘレンド社からの研修生を交えた交流イベントも開催した。

・令和8年度は、美濃焼製造企業からヘレンド社への人材交流（研修派遣）を実施し、その成果について、後日、報告会を開催し、地元陶磁器産業界へ還元するとともに、陶磁器産地とヘレンド社との継続交流に向けた関係性構築を目指す。

(2) 事業内容

①ハンガリー・ヘレンド社との人材交流（派遣）

[岐阜県 → ヘレンド社]

受入期間：令和8年9月～10月（予定）

受入施設：ヘレンド社

[報告会]

開催時期：令和9年2月（予定）

開催場所：セラミックパークMINO（イベントホール）

(3) 県負担・補助率の考え方

「岐阜県とヘレンド社との友好協力に関する覚書」や「万博国際交流プログラム」に基づき、両者の陶磁器文化や人材の交流を行うことは、陶磁器産業の振興に繋がるものであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,510	業務委託料1,510
合計	1,510	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2023～2027年度）

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(1) 地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信

⑤「『清流の国ぎふ』ブランド」づくり

(2) 後年度の財政負担

地元自治体や産業団体と連携・協力し、引き続き支援を行う。

(3) 事業主体及びその妥当性

岐阜県の主要産業である陶磁器産業を支援するため、「岐阜県とヘレンド社との友好協力に関する覚書」に基づき負担するものであり、負担は妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

陶磁器産業の振興に向けて、美濃焼製造企業からヘレンド社への人材交流（研修派遣）を行う。後日、成果について報告会を開催し、地元陶磁器業界へ還元する。

○人材交流

[岐阜県 → ヘレンド社]

・受入期間 令和8年9月～10月（予定）

・受入施設 ハンガリーヘレンド社

[報告会]

開催時期：令和9年2月（予定）

開催場所：セラミックパークMINO（イベントホール）

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

「岐阜県とヘレンド社との友好協力に関する覚書」に基づく人材交流などを主な目的とした事業であるため

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	令和5年9月5日～10月31日にて、美濃焼製造企業からヘレンド社へ1名研修派遣を実施した。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	令和6年10月28日～11月19日にて、ヘレンド社から岐阜県へ1名研修受入を実施した。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	「岐阜県とヘレンド社との友好協力に関する覚書」に基づく人材交流であり、岐阜県が継続して実施する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	交流事業の成果を地元陶磁器業界に還元することで美濃焼のブランド力向上等に貢献している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	限られた期間内でより効率的な研修となるように研修内容の見直し等を行っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 日本人のライフスタイル・価値観の変化や安価な外国製品の流入など、市場環境は極めて難しい状況下であり、美濃焼のブランド力向上のため継続実施が必要である。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 報告会には多くの地元陶磁器業界の方に参加いただくなど本事業への関心は大きく、陶磁器産業の振興のため、引き続き実施していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	